

平成21年10月15日

あざくら

第55号
通算94号



一人ひとりの
個性をゆたかに

北上展勝地にて



一歩づつ確実に

支援課長 詩野 康子

早いもので平成二十一年度も下半期に入りました。

今年度は年度当初より「新型インフルエンザ」の脅威を感じつつ今日に至っています。いつ発症してもおかしくない状況ですが予防はもちろんのこと、もし有症状者が出て感染を最小限に留めるべく冷静に適切な対応をしていきたいと思えます。

天気の方も平年より早く梅雨入りし、その後、夏らしい陽射しもほとんど感じることなく、もう秋の虫が鳴いています。

そのような中で行われた「夏祭り」は利用者さんの気持ちが届いたのか、雨も上がり約五百人超の方々が大盛況でした。

お盆を家庭で過ごされた利用者さんもまたいつもの生活に戻りいよいよ園祭に向けて始動です。一方、先の衆議院議員選挙の結果では政権交代という事態になり「障害者自立支援法」も今後どのように変化していくか気になる場所ですが私たちにとって大事なことは、法律や制度がどう変わろうとも利用者さんの思いや希望を受け止め叶えられるようまた、安心して生活ができるよう支援

していくことです。一人ひとりの思い、その時々のお気持ちに耳を傾けヒューマンサービスの意義を今一度認識しながら利用者さん、ご家族、職員もともに充実した生活ができるような体制でありたいものです。課題はたくさんありますが少しずつ前進しております。

「養護学校放課後生活支援事業」の専用室を内装し明るいお部屋になりました。木工科には外部から指導者を迎えました。園長の指示のもと「QOL向上委員会」を設置し利用者さんの生活をハード・ソフト両面から見直ししています。また、児童棟には新たに二名の入所利用の方を迎えましたが、在園年数が長くなっておられる利用者の方にはこれまで培った生きる力・活動する意欲を持ち地域に踏み出していけるような支援の充実を図ることが急がれます。できることから取り組んでいきたいと思えます。



新型インフルエンザ対応について

園長 高山 久俊

新型インフルエンザは、感染の急激な拡大が確認され、本格的な流行になっており、これから冬にかけて、感染拡大期から蔓延期になると予想されています。

当阿坂園では、厚労省、秋田県、地域振興局（保健所）からの情報収集や指導を得ながら対応案を策定しています。また、先般、

法人本部からの「対応マニュアル」も示され、予防対策を重点に、発症時の対応についても詳細かつ具体的な取り組みを確認しております。「かからない」「園に持ち込まない」、発症時は「感染拡大防止」「重症化防止」を合い言葉に、利用者の健康管理に務めることとしております。

その一部をご紹介します。

【予防対策】

- 1に「手洗い」、
- 2に「うがい」、人ごみでは

【マスク】

- 手洗い、うがいの習慣化
- 咳エチケットを守る
- 不要な外出を控える
- 通院時のマスク着用、手指消

- 毒剤携帯
- 予防接種（季節性・新型）
- 来園者の手指消毒
- 加湿器の活用
- 【発症時の対応】
- 早期発見、拡大予防と重症化防止
- 医療機関を受診後は
- 個室静養、マスクの着用
- 観察事項は、熱、咳、鼻汁、鼻閉、元氣、関節痛、食欲・食欲摂取量・呼吸状態のチェックを
- 十分な水分
- 食欲ないときは、食べやすい食事を
- 換気と加湿

※当園の利用者のご家族の方々へのお願ひ

- 利用者の方々の帰省等の際には、同様の対応のご協力をいただきますようお願いいたします。



グループホームでの生活

主査 尾久公平



現在、グループホームは横手市内に二カ所「あさひ」と「希望」があり八名の男子が入居しています。二名の方は一般企業で働いています。六名の方については日中活動の場を他の施設を利用し就労継続Bなど就労に向けての支援を受けています。年齢的なこともありませんが就労に向け皆さん元気に頑張っています。

休みの日は、それぞれが近くのコンビニに出かけたりふるさと村周辺を散歩したりと思いいに過ごしています。今地域移行が言われている中、固でも地域移行に向け固全体で取り組もうとしています。利用者の中には地域での生活を望んでいる人もいます。地域移行という希望をかなえるには保護者の方や地域の方の理解と協力が必要となってきます。地域移行の体制を整え少しでも利用者の希望をかなえられるようにこれから頑張って取り組んでいきたいと思っています。

グループホームに入って

森元

グループホームに入ってから六年目になってやっと横手マツシュセンターに就職できました。今年十二月になると一年になります。社員の人にわからないことは聞きながらやっています。たいへんなこともあるけどがんばってやっていきたいと思っています。



さくらっこクラブの紹介

佐藤 百合子

平成十四年四月、養護学校児童生徒放課後支援事業（事業の名称「さくらっこクラブ」）が開始されました。養護学校小学部一年生から高等部三年生までを対象となり、放課後（授業終了、午後六時）と、長期休業中（午前八時三十分～午後六時）をさくらっこクラブの休想室や体育館などで過ごします。昨年度までは養護学校の一室をお借りしていましたが、今年度より阿保園内に移動して活動をしています。

現在、さくらっこクラブは利用者が六名、担当職員が二名です。学校からバスで阿保園へ、トイレ、手洗い後、おやつを食べます。食べ終わるとそれぞれ好きなことを始めます。体育館へ行きたい、テレビやビデオを見たい、音楽を聴きたい、ソファで休みたいなど、主体的な過ごし方やスタイルがあり、私達は一人ひとりの笑顔を大切にしながら、一緒に楽しい時間を過ごしています。廊下では、多くの阿保園利用者の皆さんや、職員に声をかけて頂き、とても居心地の良い毎日です。時には子供同士では思いが伝わらず、衝突することもあります。その都度、子供たちの成長を願いながら、怪我のない様に見守っています。

これからは学校や家庭との連絡を密にして、家庭的な雰囲気の中で、子供たちの情緒の安定を図り、基本的な生活習慣の確立やコミュニケーション能力の向上などの支援をし、自立への一歩を踏み出せるように協力していきたいと思っています。



みんな仲良しです



東棟

創作活動

今年も、團祭めざして作品づくりに精をだしています。今回は、シールを使った作品です。

シールをはがす、貼る動作は指先のよい運動になります。いつになく、集中した真剣なまなざしをご覧下さい。



「みんなで協力して、がんばろう」
さて、何ができるか
皆さんお楽しみに!

実は、シール貼り
得意なんです〜



西棟

親子旅行 北上展勝地

4日間の日程で、北上展勝地へ親子旅行に行ってきました。

天気にも恵まれ、楽しい旅行となりました。

おいしいご飯に笑顔♪ 買い物に笑顔♪
ヤクルト工場の試飲に笑顔♪



ヤクルト工場見学

ヤクルトの
試飲♪





ほほえみピ

南棟

棟活動

棟活動の一環として行っている個別訓練7名のメンバーがそれぞれの課題に取り組んでいます。

始まりの合図に皆が「待っていました!」と言わんばかりにスッと立ち、移動してきます。

窓の外を気にしてなかなか進まない人、難なくクリアしてしまう人と様々です。

これからも、一人一人に合った課題を提供しながら、充実した棟活動となるようにしていきたいと思っています。

いつもと違う課題の色別リングをやって
も難なくクリア! すごい!!



最近はスムーズに
できるようになりました



北棟

ちよこっとエコ活動!!



最近、テレビや雑誌で頻繁に取り上げられている「エコ」。地球温暖化が全世界で注目され、現在各地でさまざまな取り組みが行われています。そんな中、北棟でもちょっとした「エコ活動」が行われていますので、少し紹介させていただきます。

1つ目が、「ペットボトルのキャップ集め」です。これは、キャップ800個で子ども1人分のポリオワクチン代になるという活動です。しかも、分別することによりCO2の排出削減にもつ

ながります。北棟でも一部の利用者の方々の間では空のペットボトルとキャップの分別がだいぶ浸透してきております。

そして、2つ目が「紙薪づくり」です。読み終わった新聞紙から薪をつくれるということで、利用者の方々への新たな作業活動として取り組んでいます。新聞紙を手でちぎる人、はさみでカットする人、また新聞紙を水でぬらして専用の型に入れる人など個人に応じて作業を分担しています。

気付かなければ簡単に捨ててしまっていたものが、ちょっと工夫すると再利用できる、役に立つ! 皆さんも「ちよこっとエコ」始めてみませんか?



不審者対応避難訓練について

泉田 大輔

阿校園では毎月、火災や地震を想定した避難訓練に加え、年に一度の不審者対応の訓練を実施しております。

昨今、何が起るか分からない世の中となり、数年前には学校への不審者侵入により、児童の尊い命が奪われた事件がありました。園としても、利用者の皆さんをお守りして行く上で、大変重要な訓練だと位置づけて取り組んでおります。

利用者の皆さんの避難はもちろんのこと、職員も不審者への対応訓練として行うことによ



り、いつ、いかなる場合にも対応できるようにと、今後も真剣に取り組んで行きたいと思っております。

お知らせ

入所

八月二十四日 南棟

○知久 沙也華さん (沼上市)

九月三十日 北棟

○福田 舞さん (大仙市)

居住棟変更

八月二十日 北棟

○成田 陽さん 南棟より

新任職員

佐々木 千恵子

(西棟)



阿校園に勤務して三ヶ月がたちました。福祉

サービスの提供の施設支援において介護や自立訓練等個々の状況に応じた支援が出来る様に今後とも努めてまいりたいと思います。

佐々木 良太

(西棟)



介護の仕事は初めてですが一日も早く戦力になれるよう一生懸命頑張っています。

利用者の皆様の人生の一部に関わる事ができ、とても感謝しています。

上遠野 忍

(東棟)



六月から阿校園に勤務になりました。利用者

とのコミュニケーションを大切に、向上心を忘れず、細かい気配りができる職員になりたいと思っております。よろしくお願いします。

編集後記

梅雨明けはいつかな...などと思っているうちに、朝晩涼しさを感じ、気がつけばもう九月も終わり。

田んぼの稲穂も色づき始め、何を食べても美味しい季節になりました。ゆっくり読書でも...なんてかっこいいことを言ってみますが、本当は...何を食べながら読書しようなどと考える自分が現実です。

世間はインフルエンザの流行で大騒ぎ。園では手洗いうがいをしっかり行い、予防に努めています。

旬のおいしいものを食べて、インフルエンザなどに負けず、元気に過ごしたいですね。



ありがとう

みなさまのあたたかい善意に利用者の方々とともにお礼申し上げます。

- 佐藤忠一郎様
- 川崎美智也様
- 藤川 恒雄様
- 藤原 栄吉様
- 佐々木時朗様

- 佐々木菊広様
- わたぼうし様
- 日立ユニシアオートモティブ様
- 秋田県立衛生看護学院様
- 秋田福祉専門学校様
- 永瀬理容店様
- 佐藤 大樹様
- 上田美賀子様